

レ ジ オ ネ ラ 症 発 生 届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 1 2 条第 1 項（同条第 8 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 令和 年 月 日

医師の氏名 \_\_\_\_\_

従事する病院・診療所の名称 \_\_\_\_\_

上記病院・診療所の所在地(※) \_\_\_\_\_

電話番号(※) ( ) - \_\_\_\_\_

(※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の類型				
・患者（確定例） ・無症状病原体保有者 ・感染症死亡者の死体 ・感染症死亡疑い者の死体				
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業
	男・女	年 月 日	歳 ( か月)	
7 当該者住所				
電話 ( ) -				
8 当該者所在地				
電話 ( ) -				
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)			
	電話 ( ) -			

病 型		18 感染原因・感染経路・感染地域
1) 肺炎型 2) ポンティアック熱型		①感染原因・感染経路 ( 確定・推定 )
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱 ・咳嗽 ・呼吸困難 ・腹痛</li> <li>・下痢 ・意識障害 ・肺炎 ・多臓器不全</li> <li>・その他 ( )</li> </ul>	1 水系感染（水の種類・状況： ) 2 塵埃感染（吸入物の種類・状況： ) 3 その他 ( )
状	・なし	
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分離・同定による病原体の検出 検体 ( )</li> <li>・蛍光抗体法による病原体抗原の検出 検体 ( )</li> <li>・尿中の病原体抗原の検出 検査法（酵素抗体法・イムノクロマト法）</li> <li>・検体から直接の病原体遺伝子の検出 検査法（PCR 法・LAMP 法） 検体 ( )</li> <li>・間接蛍光抗体法による血清抗体の検出 結果：ペア血清での抗体陽転(少なくとも1回は128倍以上)・ ペア血清での抗体価の有意上昇(少なくとも1回は128倍以上)・単一血清で256倍以上</li> <li>・マイクロプレート凝集法による血清抗体の検出 結果：ペア血清での抗体陽転(少なくとも1回は128倍以上)・ ペア血清での抗体価の有意上昇(少なくとも1回は128倍以上)・単一血清で256倍以上</li> <li>・その他の方法 ( ) 検体 ( ) 結果 ( )</li> </ul>	②感染地域 ( 確定 ・ 推定 ) 1 日本国内 ( 都道府県 市区町村) 2 国外 ( 国 ) 詳細地域 ( )
13	初診年月日 令和 年 月 日	19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項
14	診断（検案(※)）年月日 令和 年 月 日	
15	感染したと推定される年月日 令和 年 月 日	
16	発病年月日 (*) 令和 年 月 日	
17	死亡年月日(※) 令和 年 月 日	

この届出は診断後直ちに行ってください

(1, 3, 11, 12, 18 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 13 から 17 欄は年齢、年月日を記入すること。

(※)欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(\*)欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。

以下の項目は、海外由来感染症の迅速な対応に役立てるため、感染症法第 15 条に基づく積極的疫学調査の一環として情報提供を求めるものです。患者の協力が得られた場合には御記入願います。

ア. 直近 30 日以内の海外滞在歴：無、有 (国名： )  
 イ. 日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在 (帰国予定 年 月 日)